

医療連携課だより

2026年1月吉日
第11号

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より当院の診療ならびに地域医療連携に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年中は、患者さんのご紹介・当院からの紹介・救急対応など、多方面にわたり当院の地域連携体制を支えていただき、誠にありがとうございました。

本年も、患者さんにとって最適な医療を切れ目なく迅速に提供できるよう、連携医療機関の皆さまとより一層顔の見える連携の充実に努めてまいります。

引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

末筆になりましたが、皆さまのご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

医療連携課一同



10/1～脳卒中に関する長野県救急活動プロトコールが開始しました！

救急活動プロトコール（救急救命処置基準・標準手順書）は、地域のメディカルコントロール（MC）体制のもとで、医療機関と消防機関が共同で作成・改訂する「救急活動の基準」で、救急隊が救急車内で標準的な医療処置を行うための医学的指示書になります。令和7年8月に従来の救急活動プロトコールに加え、脳卒中と急性冠症候群に関するプロトコールも策定され、10月より適用となりました。これにより、脳卒中の可能性がある患者さまがより適切な医療サービスを受けられるようになり、また救急隊が医師の指示なしで迅速な処置を行うことができるようになりました。

救急隊による重点観察項目

- 頭痛の有無（突然の激しい頭痛、嘔気の有無）
- 発症時刻の把握（推定も含める）
- 身体観察（重症判断）

※脳卒中が疑われる傷病者に対する6つの観察項目：[詳細は裏面へ](#)



※脳卒中が疑われる傷病者に対する 6 つの観察項目

1 顔面麻痺	2 上肢麻痺
顔がゆがむ	
3 共同偏視	4 半側空間無視 (指 4 本法)
両方の眼球が一側を向いている または指を追視させて反対を向けない	50 cm 手前で指を 4 本かざす 片方(通常左)が見えない 指の数を正確回答できない
5 失語 (眼鏡/時計の呼称)	6 不整脈
めがね/とけい といえない	
	

上記 6 つの観察項目から該当する陽性項目が 3 つ以上あてはまる場合

→ 一次脳卒中センター (PSC)への搬送

当院は PSC の中でも地域において中核となる **PSC コア認定**を受けている施設です。

PSC コアは日本脳神経血管内治療学会の脳血管内治療専門医と 3 学会認定の脳血栓回収療法実施医が合計して 3 名以上いる施設であることが認定基準になっており、松本市内では当院を含め 2 施設あります。

24 時間 365 日緊急の rt-PA 静注療法や血栓回収療法を含むカテーテル治療が可能です、脳卒中が疑われる症状がある場合はぜひご紹介ください。



一之瀬脳神経外科病院 医療連携課

TEL :0263(48)3622 FAX: 0263(48)2121



(平日 8:30~17:30 土曜 8:30~12:30)

※時間外・休日の救急患者紹介は代表 TEL 0263(48)3300 へご連絡ください。